



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -



～クラブのテーマ～

こころゆたかなロータリアン

～本年度会長方針～

活力漲る楽しいロータリー

世界へのプレゼントになろう

2015-2016 R.I.会長メッセージ

第1205回例会 2016年4月13日 No.1174号

■ 会長時間



会長 川中 敬三

第2例会唱和 ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として、奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

『第1、知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；第2、職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に

奉仕する機会として、ロータリアン各自の職業を高潔なものとする；第3、ロータリアン1人1人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；第4、奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること；』

皆さんこんにちは、先週の花見夜間例会は近年まれな桜が綺麗な例会でした。出席された方はご苦労様でした、奥様に日頃の労をねぎらわれたことと推察いたします。さて4月に入りました、今年度より「母子の健康」の特別月間です。今ロータリーを始め国連、ユネスコほか各種団体の活動により、1990年から2010年にかけて、5歳未満の子供の死亡数は、世界全体で1200万人から760万人に減少、しかしそれでも760万人と言う数は、1日にすれば約2万1000人の5歳未満の子供が死亡していることを意味します。また、2012年の統計によると1日に800人の女性が、妊娠や出産に関する事柄で命を落としています。母子の健康を守る為には出産時だけでなく、出産前後の時期に、正しい知識とスキルを持って対応する必要があります。ロータリアンは、母子の健康を長期的に改善するために、「5歳未満児の死亡率と罹患率の削減、予防接種」ほかさまざまな活動を行っています。身近な奉仕活動として「子供の健康をサポートするための地域社会の参加促進」などの活動が考えられます。いづれにしても家庭、地域社会そして世界の健全な持続、発展は母子の健康を抜きにしては語れず、ロータリアンとして重点的に取り組まなければならない問題です。RIではポリオ撲滅運動を継続的に取り組み大きな成果をもうじきあげるところまで来ています。次年度RI2710地区田原ガバナリーエレクトは、これから世界的に、また地区においてガン撲滅運動を起そうと取り組んでおられます。我々としても協力にサポートしていきたいと思っています。4月第2例会、今年度残すところ5,6月の2か月ばかり、私にとりましては会員増強月間が続いているようです。クラブの活性化は優秀な会員の増強なくして語れません、是非とも皆さんの協力をお願いします。本日の例会に広島北RCの山下会長、幹事、委員長様ようこそお出で下さいました、広島中央RCの緒方次年度地区大会実行委員長、好永クラブ副幹事様ようこそお出で下さいました。もとより北RCは我々のクラブの親でありますし、中央は同じリーガールロイヤル広島での例会場と言う事で、色々とお世話になり有難うございます。ごゆっくりとくつろいでいただければ幸いです。最後になり少し恥ずかしいのですが、私ごとを紹介させていただきます。先般熟年ファイターズという番組の収録がありました、内容は老舗の紹介だそうですが、16日(土)am9:30より広島ホームテレビで、ほんの7,8分放送されます、時間の取れる方は見てください。今日は以上をもちまして、会長スピーチといたします。どうもありがとうございます。

今回の例会(4月20日)

会員卓話
龍山 永明 会員、木下 健二 会員

次回の例会(4月27日)

新会員歓迎夜間例会

出席報告 (例会運営委員会)

4月13日(水)出席者

会員総数	53名	ご来賓	2名
出席会員	42名	ご来客	0名
欠席会員	11名	ゲスト	6名

【例会】 毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】川中 敬三 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F 【TEL】082-221-4894
【幹事】高野 憲一郎 【ホームページ】http://www.ryohoku-rc.jp/ 【FAX】082-221-4870

**幹事報告
(高野憲一郎)**

■例会変更

- ・広島西RC「夜間例会並びに会員懇親会」
【とき】4月14日(木) 18:00～【※同日変更】
【ところ】ANAクラウンプラザホテル広島
- ・広島北RC「創立47周年記念夜間例会」
【とき】4月24日(日) 18:00～【※4/27の変更】
【ところ】ホテルグランヴィア広島

■お知らせ

- ・先週の幹事報告にてお知らせ致しました「新旧引継クラブ協議会」のご案内を今年度・次年度理事・役員・委員長の方へBOX配布しておりますので、ご回答下さい。なお、今年度理事・役員・委員長の方へ活動報告のご提出のお願いもBOXへ配布しておりますので、ご提出下さい。
(5月11日(水)「うを久」18:00～)

- ・次週のプログラムは、龍山永明君・木下健二君の卓話となります。

■BOX配布物

- ・ロータリーの友とガバナー月信を配布しております。

 **ニコニコBOX**

.....SMILE BOX

広島北RC

山下正司 様、上河内裕司 様、二井本浩司 様

いつもお世話になっております。本日は先日実施したネパールへの支援について御協力頂いたお礼に伺いました。よろしくお願い致します。

川中敬三 会員、武田龍雄 会員、高野憲一郎 会員

本日は大変お忙しい中、広島市防災ネットワーク 代表世話人 柳迫 長三 様ありがとうございます。素晴らしい卓話をよろしくお願い致します。

今枝仁 会員

本日の卓話は、防災士で、広島市防災ネットワークの代表世話人 柳迫長三様です。一昨年の広島土砂災害の被害者の体験談集を4冊お持ち頂いています。1冊1,300円です。北関東土砂災害の体験談集の作成など今後の防災や復興のために役立てますので、皆様、全員出宝の代わりに是非ご購入下さい。よろしく申し上げます(大枚)。

石川貴与和 会員

4/2広島三越店がオープンしました。試飲コーナーもありますので、お気軽にお立ち寄り下さい。(大枚)

吉田尊禮 会員

家事・手伝い株式会社を9月に設立し、4月1日営業開始となりました。何かありましたらご用命お願いします。(大枚)

当日計	53,000円	累計	819,000円
------------	----------------	-----------	-----------------

ネパールへの支援報告

広島北ロータリークラブ 山下会長様、上河内幹事様、二井本様、米山奨学生のダス・ラリット、クマール様から、過日、当クラブも支援をさせて頂きました、ネパールへの支援活動のお礼と報告がなされました。



2016-2017年度 地区大会についてのお願い

2016-2017年度 地区大会実行委員長 緒方俊平 様、広島中央ロータリークラブ 副幹事 好永裕一様から、次年度の地区大会での全員登録のお願いと地区大会の概要説明がありました。また、広島市での開催という事もあり、多数のご出席のお願いもなされました。



来賓卓話

広島市防災ネットワーク 代表世話人
柳迫 長三 様

広島市防災士ネットワーク代表世話人の柳迫でございます。今日は皆さんと同じ場所・同じ時間を過ごさせていただきますことに感謝申し上げます。私は、紹介のありましたように「防災士」です。

「防災士」は、日本防災士機構の認定する資格で、全国に10万人以上登録しています。私達「広島市防災士ネットワーク」のメンバーは、広島市内を活動拠点にし、地元の自主防災組織と連携しながら、防災知識の高揚・防災行動力の向上を目指し、災害時の被害を少しでも小さくできるよう頑張っている団体です。本日のこの機会を大切にこれからも皆様方とお付き合いできれば幸いです。



本日は、昨年8月20日発生しました「広島豪雨災害」についてお話させていただきます。「広島豪雨災害」については、この中にも被災された方がおられるかもしれませんが、昨年8月19日から広島市内を激しい降雨が襲いました。特に20日になると午前1時過ぎごろから一層激しい豪雨となり、4時までの3時間に217mmに達しました。それによって安佐南区・安佐北区では土石流107渓流、がけ崩れ59か所、死者76名、全壊住宅133棟、床上浸水1301棟の被害が発生しました。

今回の豪雨災害の特徴は、深夜の災害で住民の認知が遅れた。住宅と山地が接した地域で発生したことから全壊住宅が多いこと。15年前の1999年「6.20豪雨災害」を経験していたにもかかわらず、今回の災害を多くの住民や行政が予期していなかった。ことが挙げられています。

行政が発令することとなっています「避難勧告」は、安佐南区が4時30分、安佐北区が4時15分と最初に犠牲者が発生した安佐南区は3時21分から約1時間9分後です。もちろん深夜で激しい雷雨さらに停電などを考慮してもとても避難勧告を待っての避難では間に合いません。さらに、私が被災後現地を歩いて被災者の皆さんからお話を伺って作成した「体験談集」によると、避難勧告を知っていた住民は1パーセントに満たない数字でした。

来 賓 卓 話

では、被災地の方は何がきっかけで避難したのでしょうか。周囲の様子を見てこれはただ事ではないと感じた方48人、知人や家族からの連絡があり避難は始めた方19人、その避難した方々は土石流の発生前に避難行動をとった人が19人しかいないのです。要するにあの激しい雷雨の中、停電でテレビやラジオからの情報は入らない。さらに電話も通じない中で家の中でじっとしていたのがほとんどであったと想像できます。

私達は、今回のような地域が限定され、集中的に降る豪雨の際は、气象台も行政も対応できないことを理解し、自分で判断し自分で安全な行動をとることができる人間にならないと自分の命は守れない。と痛感しました。

そのためには、各自が自宅周辺の事象(前兆現象や異変)から危険性を感じ取ることができること。日頃から避難準備のための非常持出し品を備え、ハザードマップを確認するなどの準備、さらに避難経路や避難場所を実際に確認しておく。3点目は行政や地元自主防災会が実施する防災訓練に参加する。などを主体的な行動が素早く取れる準備が必要と思います。1昨年、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が施行されました。広島市は「防災まちづくり事業」を始めました。これは、市内の各自主防災組織に「防災士」を養成すること。そしてこの防災士が中心となり、「防災まち探検」や「DIG」訓練を行いながら、「わが町防災マップ」を作成し、防災の面から地域の危険性や自分の命を守るための安全な場所を確認し災害に備えることとしました。

このように私達は、地域の防災力の向上を目指し活動しておりますが、「防災」の基本は「自分の命は自分で守る」「地域は自分達で守る」が基本です。そのためには「自主防災活動」は地域全体が取り組まなくてはなりません。皆さん方も家に帰れば1町内会の1員です。さらに、最近の企業は地域貢献を進める企業がたくさんあります。防災関係ではホームセンターやコンビニが地域の自主防災会と災害時に物資の提供を優先的に行う協定をされたり、社会福祉施設である老人ホームやグループホームは、夜間職員が少ないことから、災害が発生した際には地域の自主防災会へ協力を求める代わりに、水害や土砂災害の発生時には施設を避難場所として使用する協定を結ばれる事業所が増えております。1つ昨年の広島豪雨災害に際にも被災者の皆さんへお風呂を開放された施設がありましたが、大変喜ばれました。このように企業も地域の1員として、大地震や土砂災害・さらには洪水などに備えなくてはなりません。企業だけが被害を受けないとか。企業だけが被害を受けるということはありません。地域全体へ襲ってくる災害に地域全体でどう対処するか？考えておかななくてはならないと思います。

最近町内会への加入率は50パーセント近くであると言われております。隣保共同・運命共同体という言葉があるように、災害は想像を超えるエネルギーで地域全体を襲ってきます。ゴミ出しや運動会など日々の生活の中から地域が顔見知りとなり、日頃から「あいさつ」ができる関係を保っておくことが、災害に備える第1歩と思います。現在広島県は「みんなで減災、県民総ぐるみ運動」を展開しております。是非地域で結成されている自主防災活動へ参加するとともに、本日お集まりの皆さんも企業は企業として地域へ関わることができると思いますので、地域から災害時の協定の締結や支援物資の要請などあった際にはご協力・ご支援をお願いしまして私のお話を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

最後に私は、昨年の広島豪雨災害の被災者144名の皆さんの災害体験時のお話をまとめ「体験談集」を発行することができました。今後どこで発生するかわからない中で、広島の被災者の生の声をお聞きいただければと思います。読んでみたいと思われる方は1冊1300円でお譲りしますので、ご希望の方は福原さんに連絡してください。本日は長時間熱心に聞いていただきありがとうございました。